

1 次の記事を読み、後の問に答えなさい。

18世紀末から日本の周辺は、急にさわがしくなります。イギリスは清をアヘン戦争で破ってから不平等条約をおしつけ、また、フランスやアメリカもアジアへ進出してきました。(7) ロシアはすでに、日本との通商を求めて北海道まで来ていました。

1853年、アメリカは江戸幕府に対して武力で開国をせよりました。日本はついに翌年に日米和親条約を、1858年には日米修好通商条約を結び、イギリスなど四か国とも同様の条約を結びます。これらの条約は内容が不平等でしたが、日本は領土をやめて、国際社会に参加していくことになります。国内では新しい政権をつくる動きがおこり、(4) 薩摩や長州など地方出身の武士たちによって江戸幕府はたおされました。

新しくつくられた明治政府は、(9) 富国強兵策をすすめて欧米のような近代国家をつくることをめざしました。そのためには海外から新しい知識や制度をとり入れて、多くの人たちの意見が反映される国会を開き、議院政治のもととなる憲法を制定する必要がありました。そうすることにより、(1) 不平等な内容の条約を改正することができ、完全な独立国家になれると考えたのです。また、(8) ノルマントン号事件をきっかけに、国民の間にも条約の改正を求める声が高まり、ようやく日清戦争がおこる直前に、不平等な内容の一つであった (2) 治外法権の廃止が実現しました。

独立国家としての体裁をととのえるため、明治政府は日本の領土の範囲を決定しました。まずロシアとは、1875年に (1) 列島を日本の領土とし、(2) をロシアの領土とする条約を結びます。さらに翌年、欧米各国に対して (3) 諸島は日本の領土であると宣言し、また、(4) 琉球王国を最終的に沖縄県として日本の領土としました。これらによって近代日本の領土が確定されます。しかし、政治家や軍人たちはさらに、朝鮮を日本にとって重要な地域であると考えていました。

1894年に朝鮮をめぐる日清戦争がおこります。この戦争に日本は勝ち、朝鮮が独立国であることを清に認めさせ、領土の一部を獲得します。清はこの敗戦をきっかけに、イギリスやフランスなどに領土の一部を奪われ、ロシアは中国東北部に進出したのち、朝鮮にも勢力を広げようとしてきました。(9) 1904年、日本はロシアとの間で戦争をはじめます。日本は陸の戦いでも海の戦いでも勝ちましたが、兵隊も物資も底をつき、アメリカの仲介によりポーツマスでロシアと講和条約を結びました。

日露戦争の結果、国際的な地位が高まった日本は、(9) 韓国ではげしい抵抗をおさえ、1910年にむりやり韓国を併合して (3) 植民地としてしまいます。その翌年、日本は (9) 関税自主権を回復して不平等条約の改正に成功し、近代国家としての日本がここに形づくられました。

1914年にヨーロッパで第一次世界大戦が始まると、日本もこの戦争に参加し、中

国や太平洋上のドイツ領土とされていた地域を奪い取りました。また、この戦争中にロシアで革命がおこると、日本はこれを利用して領土を広げようとしてシベリアへ出兵します。第一次世界大戦後、(9) 朝鮮では、日本の支配からの独立運動がおこりましたが、日本は軍隊や警察の力でこれをおさえこみました。日本国内でも大戦中から (2) 民主主義に対する意識が高まり、民衆運動や政治運動がよりあがりましたが、政府はこれもまた取り締まりました。アメリカは日本の中国への進出をおさえようとしてワシントンで国際会議を開き、大戦中に日本が中国から得た領土を返還させました。

1920年代は国際的に平和や協調を求める時代でした。しかし1920年代の末には、アメリカで発生した暴動が世界中に広まり、日本もたいへんな不景気となり、政治家や軍人の中には、資源の豊かな中国東北部を領土にすれば不景気からぬけ出せると主張する人々も出てきました。

1931年に、満州にいた日本軍が自ら鉄道の線路を爆破し、これを中国軍の行方だとして戦争をはじめます。この戦争で満州を占領した日本は満州国をつくりました。(4) 「満州は日本の生命線」と考えていた人々の目的が達成されたのです。しかし国際社会はこれを認めず、国際連盟は日本に満州からの引きあげを求めました。日本はこれを不満として国際連盟を脱退し、国際社会から孤立していきます。さらに、ソ連の軍勢力は満州を支配する日本にとって大きな圧力となり、中国も日本が満州を占領したことに対抗して日本との貿易を減らしました。このような中で、日本国内では (9) 政治に対する軍人の発言力が強まっていきました。そして1937年7月に (9) 盧溝橋で日本軍と中国軍が衝突したのをきっかけに、日本は中国と再び戦争を開始して南京などを占領しますが、中国の人々のねばり強い抵抗で戦争は長引いていきました。

ヨーロッパでも、1939年にドイツがポーランドを攻撃したことで、ドイツとイギリスやフランスなどとの間に第二次世界大戦が始まります。中国との戦争にゆきづまっていた日本は、フランスがドイツに降伏したのを見て、フランスの植民地であったインドシナへ進出し、また (9) 三国同盟を結んでアジアや太平洋の各地を支配しようとしてきました。これに対して日本の中国や東南アジアへの進出をおさえようとしたアメリカが、石油などを日本へ輸出することを禁止したため、日本とアメリカとの対立が強まりました。ついに (9) 日本はハワイの真珠湾を攻撃して、アメリカなどの国々とも、東南アジアや太平洋を戦場にふくむ「アジア・太平洋戦争」をはじめました。

長く続いた戦争は1945年によりやく終わります。この戦争では、兵士だけでなく、連合国軍の捕虜や占領地の住民、厳しい労働を強制された朝鮮や中国の人々、空襲や原爆の投下を受けた日本の民間人など、今までになく多くの人々が犠牲になりました。近代国家としての日本は、この戦争の終結をもって一つの区切りをむかえます。

問1 文章中の(1)～(3)にそれぞれあてはまる地名を、次のあ～かの中から一つずつ選び、その記号で答えなさい。

- あ. 小笠原 おがさわら い. 台湾 たいわん う. 樺太 ひがほく え. 千島 ちしま
お. 対馬 たいま か. 竹島 たけしま

問2 文章中の下線部(ア)について――。

19世紀はじめの北海道の様子の説明として、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. アイヌの人々は日本語や日本名の使用を強制され、彼ら独自の伝統的な文化や習慣は禁止されていました。
い. 現在の千葉県出身の伊能忠敬は、幕府の命令をうけて北海道をふくむ全国の測量を行い、正確な地図をつくりました。
う. 日本は北海道の開拓に力を入れたため、開発は広い地域に広がり、アイヌの人々は住んでいた土地を奪われました。
え. シャクシャインに率いられたアイヌの人々は、不正な取引を行った松前藩と戦いましたが、敗れてしまいました。

問3 文章中の下線部(イ)について――。

薩摩や長州出身の武士ではない人物を、次のあ～えの中から一人選び、その記号で答えなさい。

- あ. 坂本竜馬 さかもとりゅうま い. 西郷隆盛 さいごうたかむね う. 木戸孝允 きとたかよし え. 大久保利通 おおくぼりつとむ

問4 文章中の下線部(ウ)について――。

強兵策のひとつとして、国民から集めた新しい軍隊が組織されました。この国民の軍隊がこれまでの軍隊である士族の集団と戦って勝った戦争があります。その戦争は何ですか。4字で答えなさい。

問5 文章中の下線部(エ)について――。

日本は不平等な内容をもつ条約を改正しようとしたしましたが、その一方で日本も武力をちらつかせて不平等な内容をもつ条約をおしつけた国があります。その国の名を答えなさい。

問6 文章中の下線部(オ)について――。

この事件の説明として、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. イギリス船のノルマントン号が沈没したとき、日本人の乗客全員はおぼれて死にましたが、イギリス人の船員は助かりました。しかし、日本人による裁判で、船長は軽い罰を受けただけですまされました。
い. イギリス船のノルマントン号が沈没したとき、イギリス人の乗客全員はおぼれて死にましたが、日本人の船員は助かりました。しかし、イギリス人による裁判で、船長は軽い罰を受けただけですまされました。
う. イギリス船のノルマントン号が沈没したとき、イギリス人の乗客全員はおぼれて死にましたが、日本人の船員は助かりました。しかし、日本人による裁判で、船長は軽い罰を受けただけですまされました。

え. イギリス船のノルマントン号が沈没したとき、日本人の乗客全員はおぼれて死にましたが、イギリス人の船員は助かりました。しかし、イギリス人による裁判で、船長は軽い罰を受けただけですまされました。

問7 文章中の下線部(カ)について――。

治外法権の廃止が実現したのは、近代国家のしくみが日本でも整ってきたことを外国が認めたからだということが言えます。とくに政治のしくみについて、近代国家として認められるのに必要なものは何ですか。本文中から二つ、それぞれ漢字2字の言葉をぬき出して答えなさい。

問8 文章中の下線部(キ)について――。

この王国の説明として、適切ではないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ、15世紀に成立した琉球王国は、日本・中国・東南アジアの国々との貿易で栄え、また、それらの国々と交流をもつなかで独自の文化をつくりあげました。
- い、17世紀の初め、豊臣秀吉の朝鮮侵略のときに協力しなかったことを理由として、薩摩藩が琉球王国を武力で征服し、毎年高い率の年貢を取り立てました。
- う、薩摩藩に征服された琉球王国は、今までのように中国や東南アジアの国々との貿易を続けることが許されなかったため、人々の生活は苦しくなりました。
- え、薩摩藩に征服された琉球王国は、江戸幕府に対して、将軍が新しくかわるたびに200～300人からなる使節を、お祝いのために江戸に行かせていました。

問9 文章中の下線部(ク)について――。

この戦争の説明として、適切ではないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ、日本がこの戦争で使った費用は、清との戦争の費用よりも多くなりましたが、この費用をロシアに払わせたため、日本の国民は戦争の結果に満足しました。
- い、この戦争中にロシアでは、食料不足と戦争反対を理由に革命がおこり、戦争を続けることが困難になり、日本との講和条約を受け入れることにしました。
- う、東郷平八郎の指揮する日本の艦隊は、ロシアの艦隊はるばるヨーロッパから派遣され疲弊しきっていたこともあって、日本海での戦いに勝ちました。
- え、この戦争で日本は、ロシアからサハリンの南半分や、満州の鉄道・炭鉱の一部をゆずり受け、ロシアが韓国からしりぞくことなどを決めました。

問10 文章中の下線部(ケ)について――。

日本の指導者が、韓国の青年に射殺される事件が1909年におきました。このとき射殺された人物の説明として、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ、彼は明治政府に意見書を出して、国会を開いて広く国民の意見を聞くべきだと主張しました。また、演説会や新聞・雑誌を通して人々に自分たちの考えをうたえたり、多くの人々の署名を政府に提出したりしました。
- い、彼は明治政府が国会を開くことを約束すると、国会の開設にそなえて政党をつくり、人材育成のために学校をつくりました。その後、外務大臣として不平等条約の改正に努力し、総理大臣も経験しました。
- う、彼ははじめ、明治政府を批判する演説会や新聞記事などを厳しく取りまわりました。しかしその後、ドイツの憲法を参考にして憲法草案をまとめ、内閣の制度をつくって、初代の総理大臣となりました。

え、彼は海外で学んだ経験から、国民が学問をすることによって自立することを説きました。また、国民の一人一人が古い考え方から独立することで、国家の独立が達成されるとうたえました。

問11 文章中の下線部(コ)について――。

植民地とは、他国の力によって政治の主権が奪われ、一方的に支配される国や地域のことです。この「植民地」と反対になるような意味の言葉を、本文中から漢字4字以内でぬき出して答えなさい。

問12 文章中の下線部(サ)について――。

関税自主権を回復するまで日本政府は、自由に関税をもうけたり、関税を高くしたりすることができませんでした。しかし、国内の産業を育てるためには、輸入関税を高くすることがどうしても必要でした。輸入関税を高くしないと、なぜ国内の産業を育てることができないのですか。その理由を25字以内で答えなさい。

問13 文章中の下線部(シ)について――。

このときの独立運動と関連したことの説明として、適切ではないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、独立運動がおこると、柳宗悦は新聞に「朝鮮人を思う」を発表して、日本の植民地政策を批判し、その後、ソウルに朝鮮民族美術館を設立しました。

い、日本の国葬として行われた元韓国皇帝の葬式で、民族の独立を求めてたくさん韓国人の人々が集まり、「万歳、万歳」とさけんで行進をはじめました。

う、「韓国皇帝は、すべての権限を永久に日本国天皇にゆずりわたす」と発表されると、独立を失ったくやし涙が韓国人の人々の間にあふれました。

え、女学生の柳寛順(マフスン)は、独立宣言文を持って故郷に帰り、人々に独立運動に参加するよううたえましたが、日本軍にとらえられてしまいました。

問14 文章中の下線部(ス)について――。

民主主義への意識の高まりからおこった民衆運動や政治運動について、その説明として、適切ではないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、全国水平社の結成大会で、代表の少年が差別された体験を語り、「差別を打ち破りましょう。光り輝く新しい世の中にしましょう」とうたえました。

い、関東地方を激しい地震がおそったとき、根拠のないうわさが流れ、人々が自衛のために組織をつくり、罪のない人々を殺害する事件がおきました。

う、女性の選挙権が認められず、「普選」はまだ完成していない。「婦選」が残っている」とうたえて、女性の参政権を求める運動が続けられました。

え、富山県の主婦たちが、米の値下げを求める運動をおこし、この運動は全国に広がり、多くの人々が参加して米屋におしかけるさわぎに発展しました。

問15 文章中の下線部(セ)について――。

このように考えたのは、満州がどういふところだからなのですか。解答欄につながるかたちで、本文中から6字でぬき出して答えなさい。

■ 社会問題

問16 文章中の下線部(ソ)について――。

この状況についての説明として、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、一部の軍人が自分たちの要求をおしとおすために、選挙に立候補して有権者に政策をうたえ、議員に選ばれて議会での活動に取り組みました。

い、一部の軍人が自分たちの要求をおしとおすために、選挙に立候補して有権者に政策をうたえましたが、最後は武力で議会を占領してしまいました。

う、一部の軍人が自分たちの要求をおしとおすために、選挙という手段を選ぶことなく、首相を暗殺するなどして武力を用いて政治家に圧力をかけました。

え、一部の軍人が自分たちの要求をおしとおすために、選挙という手段を選ぶことなく、武力を用いて議会を占領することで政治家に圧力をかけました。

問17 文章中の下線部(タ)について――。

盧溝橋は、ある都市の近くを流れる河にかかっています。その都市として適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、北京 い、奉天 う、南京 え、重慶

問18 文章中の下線部(チ)について――。

日本が三国同盟を結んだ国は、日本と同じように遅れて近代化をすすめた国です。他の二国はどこ国ですか。その国の名をそれぞれ答えなさい。

問19 文章中の下線部(ツ)について――。

日本がハワイを攻撃したのとは同じころ、別の日本軍が東南アジアのある地域に上陸して攻撃をはじめました。その地域と、その地域を植民地としていた国の組み合わせとして、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、ビルマ――イギリス い、ベトナム――フランス
う、インドネシア――オランダ え、マレー――イギリス

2 次の問題 [1] [2] について、それぞれ後の問いに答えなさい。

[1] 次の文章を読んで、後の 問1～問4 について答えなさい。

日本の人口は約1億2700万人で(2003年10月1日現在)、前年よりも約18万人増えていきます。(ア)人口増加数のうち、出生数から死亡数を引いたものを自然増加数といいます。これとは別に、人口移動によって生じる社会増加数を見ることによって、社会のようすを知ることができます。(イ)社会増加数は、地域や産業構造のちがいで、市町村によって異なる現象を示します。また、(ウ)交通機関が発達するにつれて人口移動が活発になります。

問1 文章中の下線部(ア)について――。

次の【表1】は、ある都道府県の1987年10月から一年間の人口増加の割合について、【表2】は、同じく2002年10月から一年間の人口増加の割合について示したものです。【表1】と【表2】のなかのあ～えは同じ都道府県を示しています。

【表1】(単位 %)

都道府県	自然増加率	社会増加率	人口増加率
あ	1.12	-0.19	0.93
い	0.62	0.67	1.29
う	0.16	-0.59	-0.43
え	0.41	-0.48	0.07
愛知県	0.61	-0.07	0.53
全国平均	0.44	-0.01	0.43

【表2】(単位 %)

都道府県	自然増加率	社会増加率	人口増加率
あ	0.60	0.16	0.76
い	0.30	0.41	0.71
う	-0.37	-0.39	-0.75
え	0.10	0.65	0.75
愛知県	0.32	0.16	0.48
全国平均	0.09	0.05	0.14

注意：数字の前に、- (マイナス) があると減少していることを示します。

【出典】『日本国勢協会 1990年および2004/5年版』

【表1】と【表2】を参考にして、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 東京都を示しているのはどれですか。表中のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。
- (2) 沖縄県を示しているのはどれですか。表中のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

問2 文章中の下線部(イ)について――。

離島を除いて日本で最も人口の少ない村が富山村です。この村は、本州のほぼ中央を北から南に流れる河川の中流にあります。村の人口は1950年の調査では、1067人でした。1956年に当時としては日本一を誇る佐久間ダムが完成しましたが、これを境に村の人口は減り続け、1983年には217人となりました。2004年3月現在でも219人で、日本一人口の少ない村になっています。

この文章を読んで、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) この村を流れる河川名を次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。
- あ、信濃川 い、木曾川 う、黒部川 え、天竜川
- (2) この村のように人口が流出し減少していくことを何と言いますか。3字以内で答えなさい。

問3 文章中の下線部(ウ)について――。

江戸時代に、東海道に沿って多くの宿場町ができ、にぎわいを見せた地域があります。ところが、この地域では19世紀末に町の近くに鉄道が開通したため、宿場町としての役割を失って人口が減少しました。しかし、全国に鉄道網が整備されると、この地域では、紙・パルプ・紡績・織織物などの工業が盛んとなり、他の県から多くの人々が移ってきて、人口が増加していきました。

この文章を読んで、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) この地域は何県にありますか。県名を漢字で答えなさい。
- (2) この県で生産されるくだもので、その収穫量が全国で第3位(2002年)のくだものを、次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。
- あ、ブドウ い、ミカン う、モモ え、リンゴ

問4 次の【グラフ1】は、三大都市圏の転出および転入人口の変化を示したものです。グラフ中の①・②・③にあてはまる都市圏はどこですか。下のあ～えの中から正しい組み合わせを一つ選び、その記号で答えなさい。

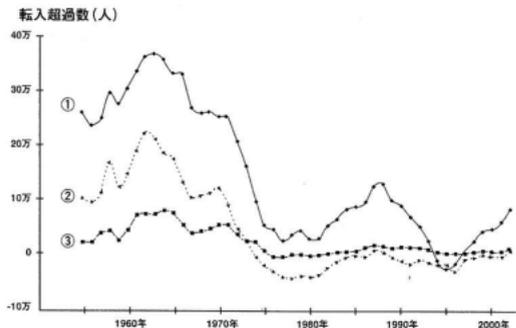
なお、東京圏・中京圏・阪神圏にふくまれる都府県は次のとおりです。

東京圏……東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県の一部3県

中京圏……岐阜県、愛知県、三重県の3県

阪神圏……京都府、大阪府、兵庫県の一部2府1県

【グラフ1】三大都市圏の転入転出人口の推移

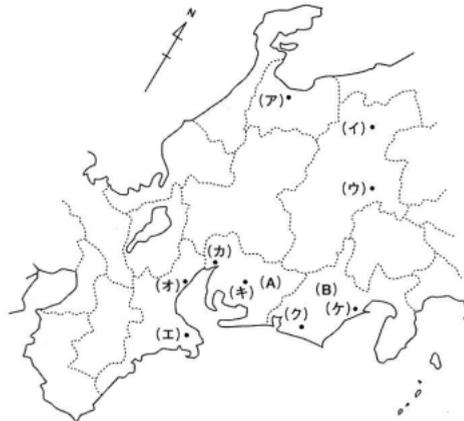


注意：数値がプラスであれば転入者が、マイナスであれば転出者が多いことを示し、また、大都市圏間の移動はふくんでいません。

【出典】『愛読する日本のすがた』(古今書院)

- あ. ①東京圏 ②中京圏 ③阪神圏
 い. ①阪神圏 ②東京圏 ③中京圏
 う. ①中京圏 ②東京圏 ③阪神圏
 え. ①東京圏 ②阪神圏 ③中京圏

【2】次の中部地方の地図を見ながら、後の問5～問7について答えなさい。



問5 次の(1)～(4)の各市は、どの都市のことをいっていますか。地図中の(ア)～(ケ)の中からその都市の位置をそれぞれ一つずつ選び、その記号で答えなさい。なお、(1)市以外の人口は2003年10月のものとします。

あ. (1)市は城下町から発展した都市で、県庁所在地です。2003年4月にとりやりの市と合併して、県内最大の人口をもつ都市となりました。

い. (2)市は県庁所在地ではありませんが、県内最大の人口をもつ都市です。4大公害裁判の一つにこの市の名前がついたものがあります。

う. (3)市は、江戸時代には徳川御三家の城下町として発展しました。現在では人口が200万人を超える大都市で、県庁所在地でもあります。

え. (4)市は門前町から発展した都市で、県庁所在地です。ここを中心として冬季オリンピックが開かれ、それに合わせて新幹線も開業しました。

問6 地図中に(キ)と(ク)で示した都市は、どちらも外国から働きに来ている人たちが多い都市です。この人たちについての説明として、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

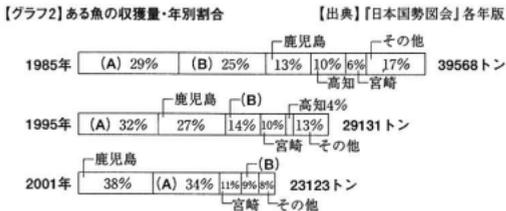
あ、これらの都市で働いている外国人のたちは、複雑で高度な技術を必要とする作業に関わることが多いので、給料は日本人労働者よりとても高い。

い、これらの都市で働いている外国人のたちをその出身国別で見ると、ブラジル出身の人たちがもっとも多い。

う、外国から来た人が自由に日本で働ける制度が作られた1970年以降、これらの都市で働く外国人のたちは急激に増加した。

え、これらの都市で働くほとんどの外国人のたちは、技術を学ぶために出身国の政府がお金を出して日本へ派遣した人たちです。

問7 地図中の(A)県と(B)県は、ある魚の養殖がさかんです。次の【グラフ2】は、その魚の1985年、1995年、2001年における収穫量上位の都道府県とその割合を示したものです。



(1) この魚を次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、マグロ い、ウナギ う、マス え、ブリ(ハマチ)

(2) 現在この魚は、国内消費の多くを海外から輸入しています。主にどの国から輸入していますか。次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

あ、イギリス い、アメリカ う、ブラジル え、中国

3 次の記事を読み、後の問いに答えなさい。

みなさんは将来、どのような職業につきたいと思っていますか。日本国憲法でも、私たちが自分に合った職業を自由に見つけることができる権利を認めています。現代の日本にはさまざまな職業があります。1990年代以降、日本は長い期間不況が続いていますが、そのような中でも(ア)新たに起こってきた企業もあり、みなさんが就職するときには、さらに選択の幅が広がっているかもしれません。

そもそもなぜ人間は働くのでしょうか。憲法で労働の(イ)税金を納める(1)が定められているからでしょうか。この問題について考えるためには、働くということがどのようなことなのかについて考える必要があります。ある思想家は、「人間は主体的に働くことで達成感や社会の一員としての連帯感を得ることができると考えました。つまり、働くことは単なる(1)や苦痛ではなく、私たちの(ウ)人生を豊かにしてくれるものであるということです。このような見方で考えると、私たちはまず、何になりたいのかではなく、自分が何をしたいのかを考えるべきだと思います。例えば、国際社会で活躍している(エ)青年海外協力隊の人々の活動はこの考えを実際の行動であらわしています。このように自らが責任を負い、主体的に自分の生き方を切り開く姿勢こそ、私たちが働く時にまず必要なことではないでしょうか。

もちろん、実際に職業について働くことは容易ではありません。ですから、さまざまな困難に対して、その原因をよく考えて取り除こうと努力をするのは働く人にとって大切なことです。働く人たちができる努力にはいろいろな形があります。例えば(オ)働く人たちが社会的に不利な立場にならないように自らの要求を示すことは日本国憲法で認められています。このように(2)に基づいて行動することは、私たちができる努力の一つです。さらに重要なことは、困難の原因をよく考え、(カ)自らの政治的・社会的意志をはっきり示す努力です。このように、働くことは単に自分の仕事だけに力を注ぐだけですむわけではありません。私たちは働くことによって、社会が持っている問題点に気がつき、憲法に保障された自らの(2)を行使することができるようになるのです。さらに、そのような行動は、一人一人が社会をより良いものにしていくことにつながっていきます。つまり、主体性をもって働くということは、(3)主義の社会を維持することにもつながるのです。働くことは単に私たちの(1)であるだけではありません。それは、私たちが社会の一員として積極的生きるために必要な行いなのです。

また、現代は国際化が進んでいる時代です。働くことで私たちは世界に向けて自分を持つ力を示すこともできるはずで、高度経済成長を経て、日本は(キ)世界でも

■ 社会問題

有数の貿易大国になりましたが、それを支えたのは日本の労働者の技術力と、もの作りへの意欲でした。新たな産業を発展させることが大きな課題となっている現在においては、以前にも増して働く人たちが専門的技術を活用して新しい事業を作り出すことが求められています。

別の思想家は、「人間は未来に向かって主体的に自己の可能性を投げかけ、積極的に社会参加をしなければならぬ存在である」と言っています。つまり、人間が自ら職業を選んでいくことには社会的な(4)が伴うということになります。現在の日本では、(7)働く人たちの置かれている状況は厳しいと言われています。しかしながら、私たちに日々動いている社会をよりよい方向へ変えていくための(4)があるのです。そのためには、私たちは何らかの職業を主体的に選択し、社会に参加していかなければなりません。自らの人生をより豊かにし、社会の一員として(4)を持って生きるために、みなさんにも将来、職業を主体的に選択することが求められています。

問1 文章中の(1)～(4)にあてはまる適切な言葉を、それぞれ漢字2字ずつで答えなさい。

問2 文章中の下線部(ア)について――。

新たに起こってきた企業の中には「ベンチャー企業」と呼ばれるものがあります。「ベンチャー企業」の説明として、もっとも適切な部分を解答欄につながるかたちで、本文中から20字でぬき出して答えなさい。

問3 文章中の下線部(イ)について――。

次にあげた国に納める税金のうち、一つだけ性質の異なるものがあります。それはどれですか。次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. 働く人が国家に納める税金。 い. ものを買ったときに支払う税金。
う. 企業として国家に納める税金。 え. 財産を受けつくと支払う税金。

問4 文章中の下線部(ウ)について――。

私たちが豊かな人生をおくれるように国はいろいろな仕事を分担しています。次に政府が設置している各省をあげましたが、この中には現在存在していない省が二つあります。その二つを次のあ～くの中から選び、それぞれその記号で答えなさい。

- あ. 農林水産省 い. 財務省 う. 環境省 え. 運輸省
お. 文部科学省 か. 外務省 き. 郵政省 く. 法務省

問5 文章中の下線部(エ)について――。

青年海外協力隊の説明として、適切なものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. 青年海外協力隊は国連の機関の一つで、発展途上国の社会が豊かになるための協力を行う組織です。
い. 青年海外協力隊に応募できるのは満18歳以上の人で、高齢者も積極的に事業に参加しています。
う. 青年海外協力隊を派遣するかどうかは、派遣を受ける国の政府からの求めに応じて決定されます。
え. 青年海外協力隊が初めて派遣されたのは1980年のことですが、現在までアジア地域に最も多くの人が派遣されています。

問6 文章中の下線部(オ)について――。

日本国憲法第28条には、働く人たちが持つ権利を三つ定めています。この権利に基づかないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. ある会社で働く人たちが24時間のストライキを行いました。
い. 働く人たちの代表と会社を経営する人の代表が話し合いをしました。
う. ある会社で働く人たちがいっしょになって労働組合を結成しました。
え. 働く人たちが自分たちの要求を実現するために署名運動をしました。

問7 文章中の下線部(力)について――。

私たちが政治的・社会的な意志を明らかにする方法について述べた文として、適切ではないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. 参議院議員選挙で行われる比例代表による選挙は、政党名を記入しなければ投票は有効にはなりません。
- い. 最高裁判所裁判官の国民審査は、衆議院議員選挙の時に手護される投票用紙に記載された名前×をつけるという方法で行われます。
- う. 憲法を改正するための国民投票は、衆参両議院の総議員数の3分の2以上が賛成しなければ実施することができません。
- え. 市町村長が不正や汚職を行った場合、その地域の住民は市町村長をやめさせるための要求をすることができます。

問8 文章中の下線部(キ)について――。

下の【表3】は日本の貿易について示したものです。表中の①～④にあてはまる国はどこですか。次のあ～えの中から正しい組み合わせを一つ選び、その記号で答えなさい。

【表3】2003年の日本の貿易相手国と輸出入額(単位 億円)

国名	輸出額	輸入額
①	134,122	68,250
②	66,355	87,311
③	40,225	20,712
④	4,307	16,887

【出典】『日本国勢図会2004年版』

- あ. ①中国 ②アメリカ ③韓国 ④サウジアラビア
- い. ①韓国 ②中国 ③アメリカ ④ドイツ
- う. ①アメリカ ②韓国 ③中国 ④ドイツ
- え. ①アメリカ ②中国 ③韓国 ④サウジアラビア

問9 文章中の下線部(ク)について――。

働く人たちの置かれている状況の説明として、適切ではないものを次のあ～えの中から一つ選び、その記号で答えなさい。

- あ. 高齢化の影響で、働く人たちが支払う社会保障費の負担がますます大きくなってきています。
- い. すぐれた技能や経験を持っている人たちをすすんで社員として採用する企業が増えてきています。
- う. 企業の支援が十分に得られるようになったので、働く男性の大部分が育児休業を取るようになってきました。
- え. 派遣社員やパートタイマーのように、新しい勤務のかたちで働く人が増えてきています。

(以下余白)

社会解答用紙

1	問 1	(1)	(2)	(3)	問 2	
	問 3		問 4		問 5	
	問 6		問 7			問 8
	問 9		問 10		問 11	
	問 12					15
	問 13		問 14			
	問 15			ところだから	問 16	
	問 17		問 18			
	問 19					

2	問 1	(1)	(2)		
	問 2	(1)	(2)		
	問 3	(1)	県	(2)	問 4
	問 5	(1)	(2)	(3)	(4)
	問 6		問 7	(1)	(2)

3	問 1	(1)	(2)	(3)	(4)	
	問 2				12	
				企業		
	問 3		問 4		問 5	
	問 6		問 7		問 8	問 9

受験番号		氏名	
------	--	----	--

得点	
----	--